

CSV 通信 5号

令和7年 3月発行
東京都立中野特別支援学校
校長 和田 慎也
文責:CSV 堀切 美和

年度末を迎え、大変あわただしく過ごされていることと思います。今年度最終号の CSV 通信では 2 月に行われた研修会のご報告と、今年度のまとめをお伝えいたします。

令和 6 年度 都立学校における発達障害教育推進に関わる研修会

令和 7 年 2 月 14 日(金) 東京都教職員研修センター
「精神発達と子どもにみられる精神疾患」/ 駒木野病院副院長 笠原麻里 先生



高校の先生方や地区拠点校の先生方の教育実践力向上をめざし、都立学校教育部特別支援教育課と CSV 共催による研修会を上記のように開催いたしました。島しょ地区の先生にはオンラインでご参加いただき、総勢 150 名近くの参加者がありました。

講師の先生の発達段階に沿った丁寧なご講義により、「高校生の発達障害」に行きつくまでの子供たちの成長プロセスが実感できたのではないのでしょうか。八王子市にある精神科専門病院である駒木野病院には、児童精神科の病棟もあり、院内では都立八王子東特別支援学校の先生方による病院内訪問教育も行われています。高校と特別支援学校、病院、地域機関などさまざまな連携により子供たちの成長を支えていく重要性を改めて考える機会にもなりました。

★アンケートより

- ・病気(=不調なところ)を治すのは医者役、『健康なところ、強み、要素』を伸ばすのが教育の役目、というお話が印象的でした。
- ・今までの教員生活での経験や知識を点だとすると、今回の先生のお話で一つの線になったような、自分の中で整理をすることができました。
- ・ぜひ第 2 弾の「実践編」を開催してほしいです。

令和 6 年度をふりかえって

中野特別支援学校に CSV が配置され、都立中学校・中等教育学校(前期課程) 特別支援教室での指導開始(都立高校でも通級による指導開始)から4年、都立版エリアネットワーク開始から3年が終わろうとしています。

今年度は新たな取組として西部地区において「通級による指導見学会」を実施しました。地区拠点校や支援センターと連携し、高校の先生方に実際の指導の様子を見学できる機会を2校で計6回行い、のべ40名ほどの先生方にご参加いただきました。この見学を踏まえて新たに通級による指導を新年度から開始する学校もあり、来年度は他地区でも実施できないか検討しているところです。

令和7年度には多摩地区初のチャレンジスクールである立川緑高校が開校しますね。また、都立しいの木特別支援学校が中野特別支援学校のしいの木分教室として本校の仲間に加わります。都立版エリアネットワークの絆もますます深まる1年にできればと思います。これからも何か校内でのご相談があればお気軽に地区拠点校や CSV にご連絡ください。1年間ありがとうございました。

中野特別支援学校

仮設校舎(愛称:さくら校舎)への移転について

CSVの拠点となっている中野特別支援学校ですが、この度、校舎の新築工事に伴い、東中野の仮設校舎に移転することになりました。6年間という長い工事期間を生活する校舎となりますので、児童・生徒でアイデアを出し合い「さくら校舎」という愛称としました。今後の移転につきまして、以下の詳細を御確認ください。

住所：〒164-0003 中野区東中野 5-12-1

電話番号：03-3365-6600

FAX：03-3365-6611

移転期間：令和7年4月から令和12年8月まで(予定)

移転日：令和7年3月27日